

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.69

2013.7月-9月



弘中 孝さん
©Jun Tazawa

アピカ弦楽アンサンブル教室
ヴァイオリンワークショップ
八月四日開催

第5回

「弘中孝と
子どもによる
ピアノ・デュオ・
コンサート」
八月三十一日開催

うかわ先生の
おんがく談義

音楽の話 輪和Wa
合唱と私

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

8月31日(土)

第5回 「弘中孝と子どもによる

ピアノ・デュオ・コンサート」に寄せて

ピアノ・デュオ・コンサート実行委員会 委員長 高橋 由香里

3年毎に開催されている「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」が今年の夏で5回目を迎えます。

12年前、子ども達が弘中先生に直接指導を受けながら、アンサンブルの楽しさを肌で感じ、さらに大きく羽ばたいてほしいという願いのもと開催され、これまで延べ50人近くの子ども達が出演しました。初めてのレッスンではみんな緊張した面持ちで会場に入りますが、弘中先生の優しく丁寧な指導のもと、とても充実した表情でレッスンを終えて出てくるのが印象的でした。そして本番では、先生のエネルギーを感じながら、普段の力以上のものを引き出してもらい、楽しく演奏出来たようです。レッスンから本番を終えるまでの先生との関わりの中で、音楽の楽しさのみならず、音楽に対する姿勢など多くの宝物を吸収できたのではないかと思います。

また、実行委員会ではどうすれば子ども達のためになるだろうかと、弘中先生のご協力も得て、毎回様々な企画を検討してきました。第2回は、オーディションを受けた子と保護者を対象に、弘中先生のお話を交えたミニコンサートをしました。第3回は、弘中先生のリサイタルとオーディションを受けた参加者のレッスン。第4回は、対象年齢を小学2年生から高校3年生と幅を広げたことと、奥様のヴァイオリニスト久保陽子氏と弘中先生のデュオ・コンサートを行いました。そして今年2月、しばざくらコンサート「ピアニスト弘中孝となかまたち」では、ご友人のチェリ

スト岩崎洗氏と、以前共演された久保陽子氏による息の合ったトリオ・コンサートに、しばし時を忘れ心地よい時間を楽しませていただきました。

さあ、いよいよコンサートに向けてのレッスンを始まります。今回は13名の子ども達が先生との共演を楽しみに日々練習に励んでいます。弘中先生の「子どもの頃お父さんと連弾して楽しかった」。その気持ちを是非子ども達にも味わってもらいたいという思いが伝わり、これからどのような道に進むかわかりませんが、この体験と感動を忘れないで欲しいと思います。

今まさに演奏しながらぐんぐん成長している子ども達の舞台を是非一人でも多くの方に聴きにきていただき、見守ってもらえればと思います。

第5回「弘中孝と子どもによる ピアノ・デュオ・コンサート」出演者

桑島 穰里 (西脇市・小2)	高見 文人 (多可町・小3)
上山 瞭空 (小野市・小4)	岡野 麻里 (西脇市・小4)
井村 阿香 (多可町・小5)	藤原 愛佳 (西脇市・小5)
松山みこと (西脇市・小5)	岡野 佳奈 (西脇市・小6)
末吉 玲音 (加東市・小6)	丸山 珠貴 (加東市・小6)
宮下 夏帆 (西脇市・小6)	谷河 礼菜 (加東市・高1)
圓尾 歩香 (加西市・高1)	

ピアノ・デュオ・コンサートに出演して

(第3回出演) 池田 満

私は、第3回「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」に出演させていただきました。あれから5年以上経ちますが、DVDを観て振り返ると、ついこの間のことのように当時の記憶が蘇ります。

アピカホールは、ピアノの発表会などで小学生の頃から慣れ親しんできた場所でした。けれども、弘中先生との共演は、本番前の緊張で手に汗握りました。ステージでは、先生のリードのもと、2人で一体となって演奏することの喜び、素晴らしさを肌で感じ、感動したのを覚えています。弘中先生をはじめ、お世話になりました関係者の皆様ありがとうございます。

ございました。

現在私は、大学でフルートを専門に学んでおり、演奏する機会を沢山与えられ、有意義な毎日を過ごしています。今できることを、今しかできないことを、音楽という形で表現し、自分なりに切磋琢磨しているところです。

最後になりましたが、今回、第5回「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」に出演される皆さま出演おめでとうございます。音楽の道に進もうと思われている人も、そうでない人も、今回の体験で何かを感じとられ、今後活かされますよう、お祈りいたします。

心躍るピアノ・デュオ・コンサート

(第3回・4回出演、今回第5回出演者) 谷河 礼菜

私が弘中先生に出会ったのは今から6年前のことです。第3回「ピアノ・デュオ・コンサート」で一緒に演奏させていただいた日から今回で3度目の出演になります。私が選考会に応募したいと思う理由は大きく分けて二つあります。

一つは弘中先生に自分のピアノ演奏を指導していただけるということ、もう一つは連弾するという楽しさを偉大なる先生と味わうことができるということです。私は弘中先生のレッスンで曲を合わせるとき、いつも胸が躍っています。初めてレッスンを受けた9歳のときには正しいリズムがとれるよう、優しく教えていただきました。2回目の出演のレッ

スンのときには連弾曲のモーツァルトで先生と合わせることによって生まれる音の華やかさが広がりを見せて、心から楽しいとそう思える瞬間でした。連弾だからこそ味わえるこの気持ちを先生と音で交わし合い、見ている方にも届くように演奏するのが私の最大の役目であり、また私自身の貴重な経験になります。

今回演奏する、ショパンの「四手のための変奏曲二長調」は、ショパンの唯一のピアノ連弾のための作品でとても貴重なものです。より多くの人にこの作品の魅力を知ってもらえるよう心をこめて弘中先生と一緒に演奏したいと思います。

※第3回「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」に出演された池田満さんと第3回・4回に出演され、今回第5回にも出演される谷河礼菜さんに寄稿いただきました。

8月4日(日)

ヴァイオリンを弾いてみよう!

ヴァイオリン ワークショップ (楽器体験)

今回、初めての企画「ヴァイオリン ワークショップ」をアピカ弦楽アンサンブル教室の一環として開催します。このワークショップは、弦楽器に興味はあるけれど触ったことがない、楽器がなくなど、もう一歩のところまで足を踏まれている児童生徒の皆さんに、まずは楽器に触れていただき、弦楽アンサンブルに興味を持っていただく機会になればと願い開催いたします。

対象：北播磨地域（西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町）在住の小学1年生から高校3年生までの方ならどなたでも参加できます。

募集人数：30名程度

と き：8月4日(日)

と ころ：アピカホール

時 間：応募人数により開催時間及び回数（最大3回実施）を決定します。
体験時間は、ステップ1～3で約60分。

内 容：ステップ1 ヴァイオリンの音を聴いてみよう!

ステップ2 ヴァイオリンを触ってみよう!

ステップ3 ホールで演奏してみよう!

※アピカ弦楽アンサンブル教室生が演奏をお手伝いします。

参加費：1,000円（当日ご持参ください。）

指導者：藤井允人先生（元大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター
現在、栗東さきらジュニアオーケストラアカデミー校長）

西山枝里先生（西脇市出身、在住。西脇小学校オーケストラ部にてヴァイオリンを始め、大阪音楽大学、同大学専攻科を卒業）

申込方法：所定の申込用紙にご記入の上、アピカホールへお申込みください（FAX可）

[アピカホール](#) [検索](#) ◀ホームページからダウンロードできます。

申込締切：7月20日(土) <必着>

その他：楽器貸出しの場合、台数に限りがあるため楽器サイズの希望に添えない場合があります。

申込・問合せ 西脇市立音楽ホール「アピカホール」
TEL：0795-23-9000 FAX：0795-23-9031
休館日：毎週水曜日

アピカ 弦楽アンサンブル教室生募集 弦楽アンサンブルを楽しもう!

ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスによる弦楽アンサンブル教室を開催しています。みんなで楽しい弦楽合奏をしましょう。

楽譜の読み方（作曲家が意図していることや音の並びによる法則など）や演奏法を学び、弦楽合奏を体験することで、表現力を養います。

また、なかまと音を重ねて演奏することを通して、一人では味わえないアンサンブルの楽しさを感じてもらいたいと願い開催しています。

対象：北播磨地域（西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町）在住で、弦楽器を習っている小学4年生～高校3年生。

20名程度

※鈴木ヴァイオリン（ヴィオラ・チェロ）教本第1巻を終了程度

※4年生未満の方はお問い合わせください。

と き：月3回程度の週末

※8月・11月・3月の練習日は4～5回程度実施予定

と ころ：アピカホール

指導者：藤井允人先生 西山枝里先生

内 容：藤井先生による合奏練習

西山先生によるソルフェージュ、パート練習と合奏練習

年に一度コンサートを開催します。

（平成25年度は、平成26年3月30日(日)に開催予定）

参加料：3,000円/月

※随時募集中。興味のある方は、見学にお越しください。

（事前にご連絡ください。）

8月24日(土)

第17回 「リトルピアニストの大きなコンサート」

アピカホールにあるスタインウェイピアノを広く皆さんに弾いていただきたいという願いから、このコンサートは始まりました。

“演奏家の卵”たちがこれからも音楽に興味を持ち続けることを期待し、また自分の演奏だけでなく、他の出演者の演奏を聴くマナー

を身につけることもねらいとして開館当初から開催しています。

今回も60名のリトルピアニストたちが、日ごろの練習の成果を発表します。ホールにお越しいただきあたたかい声援をお願いいたします。



オーストリア音楽の特質(第5回)

前回は、オーストリア音楽の特殊性の第3として、非常に強い表現欲求の昂まりと、それを通して表される悲劇性を指摘し、その実例として、シューベルトの晩年の器楽作品を取り上げました。

オーストリアの音楽学者グラスベルガーは、ブルックナーの音楽の特徴とされている昂揚について、それは、けっしてブルックナーならではの个性的特徴なのではなくして、オーストリア音楽に特有の特徴なのだと思います(註1)。

「人の心の琴線に軽やかに語りかけながら激越な状況を作り出してみせたり、デモニックな憑依状態を好む資質がオーストリア人にはあり、それゆえ、創造の場では、内面の充溢をむりやりに制御せねばならぬ事態を招来することがしばしばとなるのであるが、しかしながら、これこそが、オーストリア人のメルクマール(特徴)であるような人間存在のありようであるのだ」とグラスベルガーは言います。

グラスベルガーは、劇的に昂揚する濃密な表現は、すでに、ハイドンの交響曲のなかに見られるとし、『交響曲第104番〈ロンドン〉』の第2楽章アンダンテをその一例として挙げています。

続くシューベルトにおいては、ハイドンに萌芽が見られた感情の爆発は、前回見ましたように、もはや抑えつけられはしませんでした。そして、シューベルト様式の諸メルクマールは、延長拡大され、たかめられて、ブルックナーの交響曲のなかに保存されていくこととなります。

ただ、モーツァルトだけは例外で、モーツァルトの均整のとれた様式のなかには、感情の爆発はあまり見出せないのです。だが、しかし、モーツァルトの場合には、その代わりとして、独特の下降半音階があると言えるでしょう。アンリ・ゲオンが「走る悲しみ」と形容したことで有名な『弦楽五重奏曲 ト短調 K.516』第1楽章の第1主題をはじめとして、晩年の作品には、いたるところで、下降半音階が使われています。半音階の音を使えば使うほど、何とも言えない不安な落ち着きのないものとなるのですが、特に半音の下降には諦めがあり、下降半音階を使うことによって、モーツァルト特有の諦観や寂しさが表出されていると言えるでしょう。

オーストリア音楽の特殊性の4番目として、楽天性と悲観の奇妙なまじりあいを挙げることができます。

ウィーンの住民について、ドイツ文学者の池内紀氏は次のように述べています。

「この町の住民の多くに、陽気な社交性と陰気な孤独癖とが同居している。生のよるこびと死の不安とがまじり合い、たのしい笑い顔のすぐあとに暗い愁い顔がとり代わる。生きながら『死の病い』を病んでいるごとくであって、世俗的な人の好さに人間嫌いがまといつき、ウィーン特産の刻印を押している。」(註2)

ウィーンの住民について言われたことは、オーストリアの音楽にもまた、そっくりそのままあてはまるのです。オーストリア音楽の中にもまた、相反する二つの性格——これまで見てきた〈楽天的で陽気な明るい面〉と

〈悲劇的な絶望感、諦念という暗い面〉——が同居していると言えるでしょう。両者は、一枚のコインの裏表のような関係にあり、表面は明るいけれども、その裏側には、痛切な哀しみが秘められているのです。音楽学者のアインシュタインは次のように言っています。

「モーツァルトの音楽はつねに正直である。しかしそのなかには、人々が悲哀あるいはデモニックと名づけていたところの、何か個人的なものが共鳴している。(中略)流れは、明るくて微光を放つ表面の下で、たいへん深いのである。シューベルトもまた『ほんとうに楽しい音楽というものが存在するのだろうか? 私はそういうものを知らない』とたずねたときに、似たようなことを考えていたのである。」(註3)

ローベルト・ハースは、ブルックナーの精神のなかには、カトリックの信者であるがゆえに、「輝かしい楽天主義と痛ましい罪の意識がまざり合っている」と述べ、エルンスト・クルトは、ブルックナーの音楽のなかには、「陰鬱な気分の流れが何とも言いようのない心の高まりと同様に溢れている」と説きました。

ワルツ王ヨハン・シュトラウスのあの軽妙なワルツとて、例外ではありえません。

ヨハン・シュトラウスのワルツは、大部分が長調で書かれていて、一聴したところ、人生を謳歌しているように聴こえるかもしれません。だが、しかし、シュトラウスのワルツは

本当に楽しい音楽だといえるのでしょうか? 『皇帝円舞曲』にしろ、『美しく青きドナウ』にしろ、『ウィーンの森の物語』にしろ、きまって、曲の最後には、人生の哀愁が切々と歌われる部分が置かれています。けっして、陽気には終わらないのです。シュトラウスは、たえず、病的な不安に苦しんだといわれています。孤独への不安、病の不安、老いへの不安、とりわけ死への不安。また、太陽が不安でならず、嵐や雨の日を好みました。自然にさえ不安を抱かずにはいられず、ウィーンの森にも、シュトラウス自身は一度も行ったことがなかったそうです。典型的なウィーンっ子であるヨハン・シュトラウスの享乐的なワルツの背後にも、また、不安や絶望や諦念がびったりとへばりついているのです。

楽観性と悲観との奇妙なまじり合い。

オーストリア音楽の特異性は、この矛盾と結びついているといえるでしょう。というよりは、むしろ、それが、オーストリアの音楽においては矛盾ではないということと結びついているのでしょう。

- 註(1) グラスベルガー(高辻知義訳)「形式とエクスタシー——交響曲におけるハイドン=シューベルト=ブルックナーの関係——」『音楽の手帳・ブルックナー』所収 青土社 174~182ページ
- (2) 池内 紀『ウィーン・都市の万華鏡』音楽之友社 92~93ページ
- (3) アインシュタイン(浅井真男訳)『音楽における偉大さ』白水社 182ページ

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鶴川 真

西脇ロイヤルホテル



兵庫県西脇市西脇 991 番地 〒677-0015
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

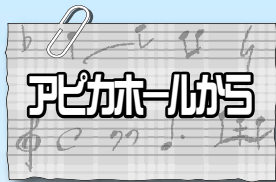
詳しくはオフィシャルホームページで ▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

レストラン・ラフィネ

【朝食】 7:00~10:00
【ランチ】 11:30~14:30 (L.O.14:00)
【ディナー】 17:30~21:30 (L.O.21:00)
【喫茶】 10:00~21:30 (L.O.21:00)

和食処・織乃里

【昼】 11:30~15:00 (L.O.13:30)
【夜】 17:30~ (L.O.21:00)



4月21日(日)
第22回「アピカフレッシュコンサート」

若さあふれる演奏をされた皆さんのメッセージです

今日は、このような演奏会に出演させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです！特にこのホールで弾ける日を楽しみにしていますよ

高濱 歩

今日は、このような素晴らしいコンサートに出演させて頂き、本前にもありがとうございました。これからも、自分らしく演奏していけたらと思います。また、機会があればアピカホールで演奏したいです。今日は、本前にもありがとうございました。

篠田 安里

今日は、このような素敵な演奏会に出演させていただき、ありがとうございました。とてもいい経験ができました。そしていい思い出になりました。アピカホールのスタッフの方から、これからも、自分らしく音楽を続けていきたいと思っています！！

ピアノ 佐藤 奈々子

今日はアピカフレッシュコンサートに出演させて頂き、ありがとうございました。この舞台での経験も今後に活かしていきたいと思います。頑張りたいと思います。

小林 希子

アピカホール合唱団 団員募集

プロによる呼吸法や発声法の基礎を学び、歌う楽しさやみんなで歌う喜びを体験し、美しいハーモニーを奏でてほしいと願い合唱団員を募集しています。

児童合唱団

対象：小学1年生～6年生
練習：月曜日/月3回 18:00～19:00
参加費：2,000円/月
内容：ソルフェージュ（音符の書き方、読み方、視唱、聴音などの音楽の基礎）を取り入れながら、呼吸法や発声法を学び、合唱を楽しんでいます。

混声 Coro アピカ

対象：中学生～一般
練習：月曜日/月3回 19:30～21:00
参加費：3,000円/月
内容：毎回、百合花先生の指導のもと、呼吸法と発声法の基礎練習から始まり、ホールの響きを楽しみながら練習します。

対象：西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町在住の方及び西脇市内在学・在勤の方。
指導者：百合花先生（相愛大学音楽学部卒業。ベートーヴェン「第九」のアルト・ソリストとしてデビュー。以後、モーツァルト「レクイエム」、オペラ「ガラシャ」のタイトルロールほかオペラ公演に多数出演。荘田作、井原直子、寺谷千枝子の各氏に師事。ライツ室内管弦楽団付きソリストとしても活躍中。）
ピアノ：秋山麻子先生
募集：随時
※合唱に興味のある方、体験・見学にお越しく下さい。（事前にご連絡ください。）



一緒にコンサートを作ってみませんか？

アピカホール スタッフ募集！

アピカホールは平成8年7月に開館した固定席180席の音楽専用ホールです。「音楽」をとおした市民活動、まちづくりの拠点施設として運営及び事業を市民の皆さまの参加協力を得て実施しています。

コンサートが開催されるまでの準備、当日の受付などetc・・・皆さまの思いのこもったコンサートと一緒に作ってみませんか？
興味のある方は、ぜひホールにご連絡ください。

西脇市立音楽ホール「アピカホール」 TEL：0795-23-9000（毎水曜日休館）

KOBE STYLE

Kitchen & Reform

www.kobe-style.co.jp

〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中6-9 TEL:078-857-8424
神戸ファッションマート10F FAX:078-857-8425

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

部)では小太鼓に始まり、
器楽部(ブラスバンド
る。演劇部はさておいて
籍を置いたことから始ま
時代に器楽部と演劇部に
私の「合唱」は、中学

間であつた曲はほとんど
に祈る」などなど、四年
山「月光とピエロ」「山
水修の組曲「雨」「富士
作曲家、多田武彦・清
活を虜にした。

とと思う。
「混声Còroアピカ」
の一人として、これから
も楽しく歌っていきたく
「信条」でもある。
終わりに、「爽やかな
人間空間」を感じながら
「混声Còroアピカ」
の一人として、これから
も楽しく歌っていきたく
と思う。
(西脇市上本町椿坂 在住)

編集後記

今回はこの情報誌『ボナンタゴン』の顔の見えない編集者を紹介します。

ボナンタゴンの編集委員は個性派揃い。音楽好きの集まり編集委員会は、以下のメンバーによって構成されています。(依藤・鶴川・岡本・古谷)

依藤さん、割り付けから校正まで、幅広い知識を持った方で、新しく冊子にレイアウトされて、生まれ変わるお手伝いをしてもらいました。今のボナンタゴンの生みの親といった感じです。

岡本さん、写真のイメージから字の大きさ、キャッチコピーやサブタイトルなどセンスが光っています。鶴川さんは音楽学の立場から意見を述べたり、また

音楽の 話・輪・和・Wa

合唱と私

稲垣 全彦
inokuni ぜんげん

私は今「混声Còroアピカ」に密かな楽しみを感じている。振り返れば四十有余年の時を越えて今、歌いたくてしょうがない自分がある。やっつことごとく言えば語弊があるが、楽しく歌える環境が六十半ばを過ぎてようやく整ったということなのだろうか……

卒業までコルネットを吹いた。今も心に残っている曲は体育祭総行進で必死に奏でた「君が代行進曲」である。
高校では音楽部に入部していたが、残念ながら当時混声合唱であつた曲目はあまりよく覚えていない。

私が本格的に合唱に目覚めたのは大学に入ってからのこと。新入生歓迎会で無理やり入部させられたのをきっかけに、工学部男性合唱団「コルテクニカ」が私の学生生活に虜にした。

覚えているといっても過言ではない。それほど合唱に惹かれていた。
四十数年経っても毎年四月の学園祭であの頃の仲間たちと「学歌」「学生歌」を肩を組んで歌うのが何よりも楽しく懐かしく、夢多かりし青春時代に帰れる私の至福のひと時である。

私は、合唱で大切なことは「爽やかな人間空間」を心に持つことだと思っている。これは私の「信条」でもある。
終わりに、「爽やかな人間空間」を感じながら「混声Còroアピカ」の一人として、これから



西脇市岡之山美術館

「花小説-荒木経惟」展

7月14日(日)~10月14日(月)

今回新しいスタートを切る運びとなり、その記念すべき第一回の企画展として、写真の分野で独創的な活動を続ける荒木経惟の世界を西脇において初めて本格的に紹介します。

出品内容 第1室 花と母子像写真(1)
第2室 花と母子像写真(2)
第3室 アラキネマ

開館時間 午前10時~午後5時(入館4時30分まで)
入館料 大人310円(260円)高・大学生210円(160円)
小・中学生110円(80円)(20名以上団体割引料金)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
8月全て開館

●アトリエ個展シリーズ

- VOL.1 ●松下 元夫展(絵画)
7/9(火)~28(日)
 - VOL.2 ●雲丹亀利彦展(日本画)
7/30(火)~8/18(日)
 - VOL.3 ●天野富美男展(絵画)
8/20(火)~9/8(日)
 - VOL.4 ●荒木田和美展(絵画)
9/10(火)~29(日)
 - VOL.5 ●中田 幸夫展(絵画)
10/1(火)~20(日)
- ※アトリエシリーズは無料

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」も訪問ください。



きて★みて★きいて!

「あなたが主演フェスティバル」

とき 7月14日(日) 9:30~16:30
ところ 西脇市民会館

大ホール

入場無料

- ★ステージ 第1部(10:00~14:30) 舞踊、クラシックバレエ、和装礼法こども教室等の発表
- ★ステージ 第2部(15:00~16:30) NSKのど自慢、ミニコンサート(ゲスト歌手、生バンドによる演奏会)

第一会議室

1回100円

- ★100金遊び市(9:30~16:30) 金魚すくい、ヨーヨーつり、射的ゲーム、くじびき、わたがしほか

ロビー

- ★手づくり趣味の市(9:30~16:30) アクセサリー、袋物、とんぼ玉、竹細工、手づくり焼菓子ほか

※ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/shiminkaikan/> E-mail: shiminkaikan@ever.ocn.ne.jp

アピカホール

催しガイド

7月～10月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
7/5(金)	第123回 しばざくらコンサート 「ベルリン・コンツェルトハウス室内オーケストラ」 ～コンサートマスター&ヴァイオリン独奏 日下紗矢子～	19:00～	一般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	
7/14(日)	第15回記念 きて★みて★きいて! 「あなたが主役フェスティバル」	会場：西脇市民会館 9:30～16:30	大ホール 無料 その他 有料	市民企画委員会 <small>主催</small> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
7/25(木)	TOKU&小沼ようすけ JAZZ LIVE	19:00～	大人 3,000円 高校生以下 1,500円	にしわかふるさと芸術村 ☎0795-23-3807(藤田) ☎090-3050-5184(村上)	
8/4(日)	アピカ弦楽アンサンブル ヴァイオリン ワークショップ(楽器体験)	未定	1,000円 (要申込み)	アピカホール ☎0795-23-9000	P4
8/18(日)	'10年 葉加瀬太郎音楽総監督の HATSレーベルよりメジャーデビュー 安藤禎央 Play On Passion (エレクトーン コンサート)	16:00～	前売シングル券 2,200円 ベア券 4,000円 当日シングル券 2,700円 ベア券 5,000円 前売券完売の場合当日券はありません。	(株)北条楽器 ☎0790-42-0697	
8/24(土)	第17回 「リトルピアニストの大ききなコンサート」	午前の部 10:00～ 午後の部 13:30～	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P5
8/31(土)	第5回 「弘中孝と子どもによるピアノ・デュオ・コンサート」	14:00～	前売券 1,000円 (当日券 1,500円)	アピカホール ☎0795-23-9000	P2～3
9/14(土)	北播磨5市1町と兵庫教育大学との連携講座 原子力エネルギーと新エネルギー	13:30～	無料 (要事前申込)	兵庫教育大学 ☎0795-44-2053	
10/27(日)	第2回 ヴァイオリン教室演奏会	13:30～	無料	西山枝里 ☎0795-22-3141	

- ★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。
- ★アピカホール主催の有料コンサートにご来場のお客様に限り、アピカ地下駐車場の3時間無料駐車サービス券をお渡しします。

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんにちは
(エスぺラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2013年6月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。